



Link “新風”

Vol.51
(通算 第144号)



暑い夏から一転し、急に寒さが増してきた感じがする今日この頃です。風邪やインフルエンザが心配な季節になってきましたので、日々の健康管理や早めの予防接種などを心掛けていきましょう。



『箱根のススキ』

『今月の表紙』

秋の風物詩の一つとして、ススキが挙げられると思います。

最寄では、箱根のススキが有名ですね。

ピーク時には、まるで黄金色の絨毯を敷き詰めたかのようでもあり、穂が風に揺れる様は金色の海原のようでもあります。

10月から11月が見頃ですので、足を運んでみてはいかがでしょうか？

撮影日時：2009年10月31日 場所：箱根(仙石原ススキ草原)

いくつか・・・

9月に入り、三島市沢地にある臨濟宗妙心寺派・龍澤寺を秋元取締役と訪れ、久しぶりに後藤栄山老師とお話をしました。龍澤寺との関係は、故赤堀吉弥会長の時からであり、檀家にさせていただいたお寺でもあります。会社が厳しいながらも1年間を乗り切った報告と、9月からの新しい期が始まる挨拶を兼ねて訪問した訳で、毎年恒例の訪問となっています。

老師といろいろ会話を楽しむ中でしきりにおっしゃるのは、「21世紀はこころの時代だよ」と。本当にそのとおりだと改めて思います。例えば、二宮尊徳が説く経済と徳の崩壊、平気で殺人を犯したり、3.11の被災者の救済を横目に党利党略に奔走する政治家など、枚挙に暇がないくらいです。身近なところでは、人も車も交通ルールの無視や教育問題、公僕の犯罪なども目に余る事態です。しかし、本当は多くの人には「こころの時代だよ」と思っているに違いありません。何かうまく噛み合わないものがあるように思えてなりません。

古い話題ですが、今年7月の中日新聞の記事で上野動物園の生後6日の赤ちゃんパンダが亡くなった時、見出しに「赤ちゃんパンダ天国へ」という表現がありました。子供にとって良い感性を与えるメッセージと感じました。

同新聞でもう一つ・・・「倒れた選手とゴール」の見出し記事も印象的なので、やはり書き留めておきました。6月上旬、オハイオ州で開かれた高校生の陸上大会での一場面。ゴール手前30mの地点ですぐ前を走っていた選手が倒れた。追いつくと咄嗟に肩を貸し選手の体を抱きかかえるように進んだ。2人揃って最終ラインに着くと、抱えた選手の体を前に出しゴールさせ、自分はその後に入った。それを見た観客はどっと沸き立った。「普通のことをしただけ、あたしが倒れたら誰かがやってくれたはず」と淡々と語った。本来なら大会のルールで2人とも失格のはずだったが、スポーツマン精神が評価されお咎めはなかったという。彼女の名前は、メーガン・ボーゲルさん。概ね以上の記事でした。選手に、観客に、大会関係者に拍手です。さらに言えばマスコミでしょうか。この2つの記事は何も奇抜なものではありませんが、なぜか心に響いたものでした。

この時代にあってマスコミは心温まる記事をどんどん掲載し「こころの時代」を展開してもらいたいといつも願っています。読者は切にそれを求めているのではないのでしょうか。

話は変わりますが、予定どおり鳥根県松江市にある八重垣神社に行ってきました。宮司と親戚関係にある姪の結婚式が巫女さんたちの踊る中でおごそかに執り行われ、格別の趣でした。祭神は縁結びの神様として知られる「スサノオノミコト」と「イナタヒメノミコト」で、この神社にある鏡の池付近に宮を作って住んだとされることから縁結びの神社と言われているそうです。銘打つだけあって、そんなに大きくはないのですが、なかなか見ごたえのある神社でした。

結婚式の翌日には、国指定の重要文化財である松江城と松江城を囲む堀川を、船頭さんの案内で遊覧する堀川めぐりで江戸時代の面影を残す「水都松江」の風情を船上から楽しみました。さらに「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」の作者として有名な水木しげる氏の出身地・鳥取県境港市を訪れました。水産資源と共に鬼太郎を観光の目玉に据えており、「さかなと鬼太郎のまち 境港市」としてPRしていることはご存知の方も多いでしょう。

実際、商店街を歩いてみると(叱られますが)建物も古く小さな店が多い本当に田舎の商店街ですが、すべての店が鬼太郎に関係する物品を販売しているし建物も鬼太郎一色。よくぞここまで徹底しているなど驚いてしまいます。

町への年間来場者数は把握していませんが、「水木しげる記念館」への入場者数は、年間30万人ほどと聞きました。この人たちだけで1人が2千円を消費すれば年間6億円の収入となり、他の消費を合わせると驚きの収入です。企画当初は、そんなものやっても成功しないという声が多かったようですが、徐々に賛同者が増えてきたとのこと。強力なリーダーシップと優れた企画力の勝利ということを思うとき感じ入るものがあり、大いに収穫があったひとときでした。

慌ただしい日常の生活を繰り返している私にとって、龍澤寺と松江、境港を訪れたことは有意義なときでした。感謝、感謝。

社長 赤堀肇紀





今回は、我が社が誇るマルチタレント「ハイフロー」について調べてみました。



◆ネーミングの由来と開発経緯◆

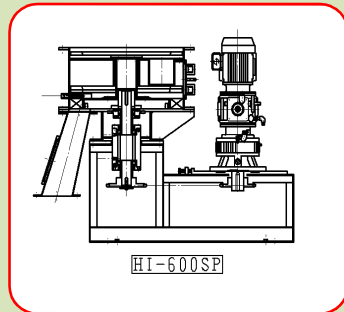
ハイフローの**ハイ**はハイクオリティ、**フロー**は粉の流れを意味しています。開発のきっかけは以下のような状況によるものでした。

某社様よりサンフロー1, 2号機を消石灰用で受注し納入したが、大きな不適合が発生！
消石灰にはサンフローは合わず、他の装置を開発する必要に迫られ、ハイフローの開発となった。

当社の創生期のお話です。

そんなスタートを切ったハイフローですが、今では多種多様な粉に対応できる、当社のメイン機器になりました。

下表に、これまで開発してきた各型式についてまとめましたのでご覧ください。



型式	供給方式	用途	型式標示例	特徴
HI-FLOW SP	計量マス方式 ローラチェーン駆動	断続供給 フラッシング防止	HI-600SP	一般標準品。 減速機から主軸へは ローラチェーン駆動する。
HI-FLOW CU	カップリング駆動	断続供給 フラッシング防止 大型機向け	HI-600CU	主軸の真下に減速機 出力軸を設置し、 カップリングで連結して 駆動する。
HI-FLOW C	計量マス方式	微粉炭仕様 シール部強化	HI-600C HI-600SPC	微粉炭等フラッシング性の 強い粉体用。 計量ロータ隙間微小。 シール強化。
HI-FLOW SC	スクレーパ方式	連続供給	HI-600SC	少量～大量迄連続で 供給可能。
HI-FLOW P	計量マス方式	空気輸送仕様 シール部強化	HI-600SPP	フィーダから離れた位置に ある供給先へ供給できる。 圧力容器対応品もある。
HI-FLOW MV	計量マス方式 マスの仕切板が 90°回転する	付着性の強い 粉体用	HI-600MV	排出口の上で仕切板が 直角から水平になり、 付着した粉体をかき取る。
HI-FLOW SA	スクレーパ方式	サニタリー仕様 (食品・医薬・ 化学工場等)	HI-600SA	工具無しで分解できる。
HI-FLOW BTUM	計量マス方式 アンダモータ方式 ブロースルー式	低圧空気輸送用 フィーダ	HI-600BTUM	横方向にコンパクト。 少量の連続供給用。 消石灰・活性炭の 煙道吹込み用に開発。
HI-FLOW UM	アンダモータ方式	狭いスペースに 据付可能	HI-600UM	横方向にコンパクト。